

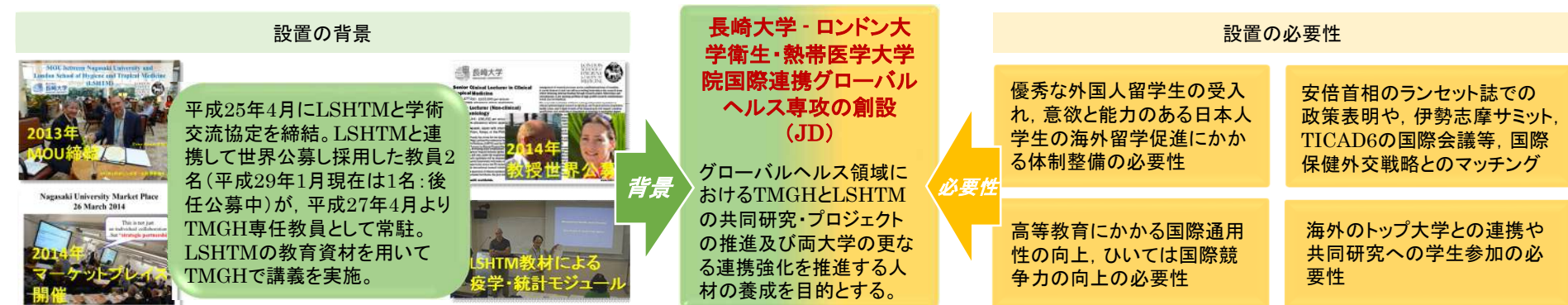
資 料 目 次

- 資料 1 長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 国際連携専攻の概要①
- 資料 2 長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 国際連携専攻の概要②
- 資料 3 長崎大学及びロンドン大学衛生・熱帯医学大学院が考えるグローバルヘルスという学問領域
- 資料 4 履修モデル
- 資料 5 学位記（案）
- 資料 6 カリキュラムマップと 3 ポリシーについて
- 資料 7 コースマップ
- 資料 8 主体的学習促進支援システム（LACS）について
- 資料 9 人材養成像（リーダーとしての資質）
- 資料 10 Joint Academic Committee（JAC 学務委員会）について
- 資料 11 既設修士課程との関係

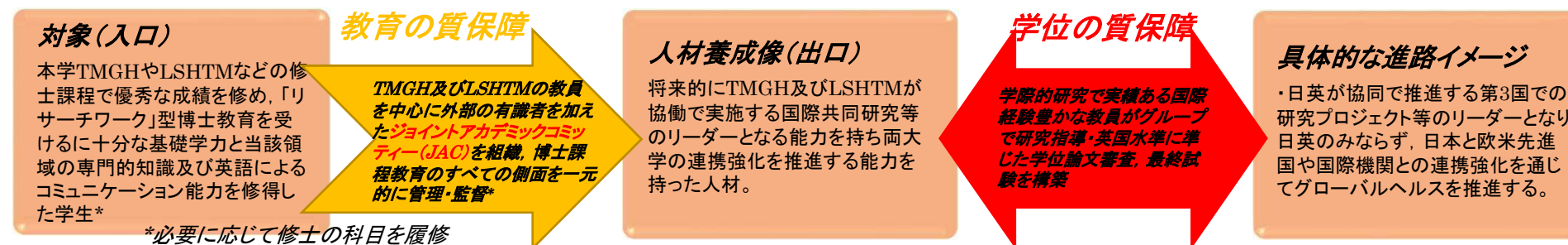
基本構想

研究科・専攻名	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 長崎大学 - ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻 母体となる熱帯医学・グローバルヘルス研究科及びLSHTMと連携して、グローバルヘルスにかかる教育研究を実施することから 長崎大学 - ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻 とする。
学位名称	【英名】 Doctor of Philosophy 【和名】博士(グローバルヘルス) : 保健衛生分野 英名の学位名称は、連携するLSHTMと同じ学位表記であり、その他の英国の主要大学においても採用されている名称であるため、国際通用性は高い。和名学位については、学位の分野を付すこととなっているため、TMGH及びLSHTMで編成するカリキュラムの内容から「博士(グローバルヘルス)」とする。
入学定員	5名 TMGH修士課程の定員は37名、TMGH博士後期課程の定員は10名であることから、母体となるTMGH研究科の収容定員は合計47名であり、定員の上限は9名となる。両大学の受入や指導体制等を考慮し、定員を5名とした。

設置の背景・必要性



教育課程の概要: 英国式大学院教育に準じて、「リサーチワーク」型のコースデザイン



カリキュラム等について

リサーチワーク型のカリキュラム

連携するLSHTMのカリキュラムに合わせて、コースワークの単位は設定せず、研究指導を受けながら博士論文を作成し、学位審査に合格することを修了要件とする。主指導教員がLSHTMの教員であれば、副指導教員のうち1名はTMGHの教員となるようなチーム作りがされる予定となっている。

教員構成について

グローバルヘルスという統合領域を対象とするため、本研究科専属の専任教員の他、**熱帯医学研究所を始め、医歯薬学総合研究科、国際連携研究戦略本部、原爆後障害医療研究所等から専任教員が配置**。国際的な教育研究が行えるよう、特に国際的な共同研究教育の参加実績を有する教員、海外で学位を取得している日本人教員、および外国人教員を配置するよう配慮。

連携するLSHTMに所属する世界トップレベルの教員がTMGH所属の教員と協同で学生指導を行う。

疫学・集団健康(EPH)

John Edmunds 教授、博士、疫学・集団健康学研究科科長

Ian Roberts 教授、博士、臨床治験センター長

感染症・熱帯病学(ITD)

David Mabey 教授、博士、(元)感染症・熱帯病学研究科科長

Robin Bailey 教授、博士、熱帯医学・国際保健(MSc TMIH)コース長

公衆衛生学・政策学(PHP)

Paul Wilkinson 教授、博士

John Cairns 教授、博士

＜チーム型研究指導＞

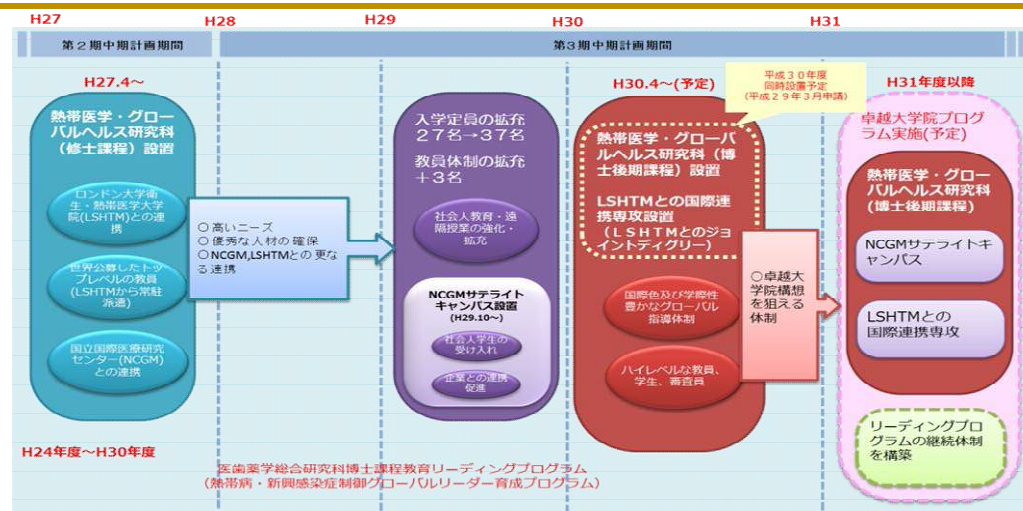


将来構想への展開について

卓越大学院構想

国内外教育研究機関との連携

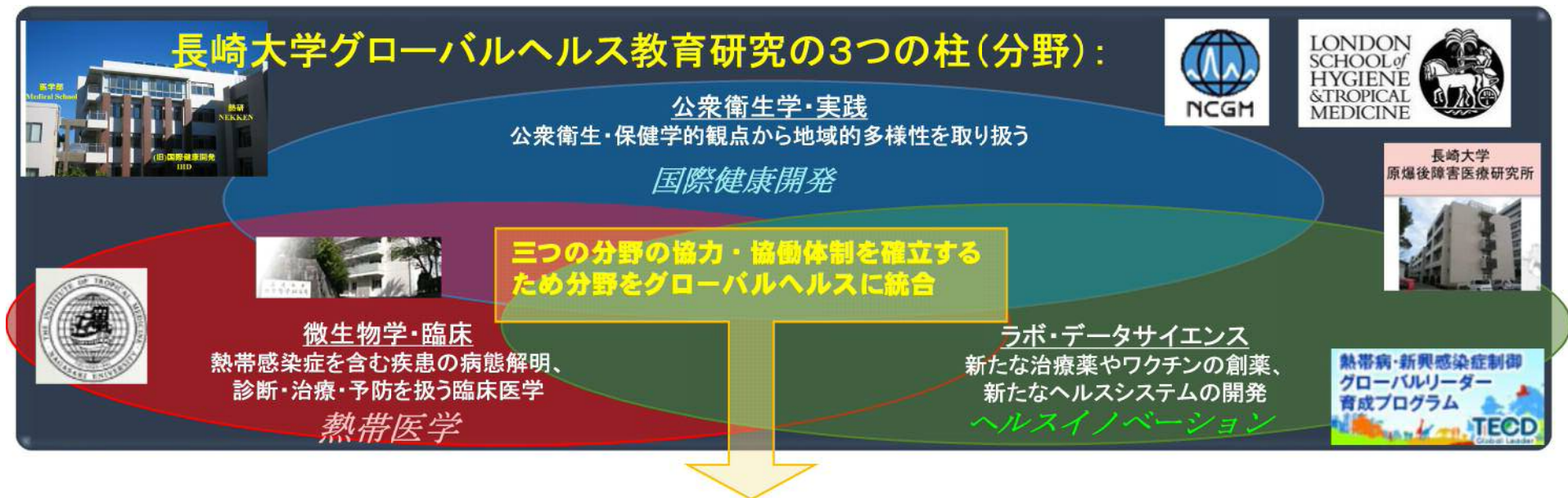
本学リーディング大学の実績を基盤に、TMGH、熱帯医学研究所、原爆後障害医療研究所、LSHTM、NCGMを中心に、京都大学、国連大学、JICA、ベルギー王立熱帯医学研究所、大手製薬メーカー等との連携による教育プログラムを構築。



グローバルヘルスは、「公衆衛生・国際保健学、熱帯医学の伝統的な要素を統合させた教育、研究、実践における新たな学問領域である(P Piot、G Garnet、Lancet 2009)」

特徴として、ときに医科学越えたアプローチを取り入れた、より統合的な総合学問；疾病や健康を総合的かつ地球規模で考える視点を重視；地球上のすべての人々の健康向上と健康格差の解消を目指し、実践を重視；グローバルに共通した健康課題については、高所得国も対象に含める；人間集団における疾病予防を重視しつつも、治療・ケアへの介入も研究対象に含める (J Koplan、Lancet 2009)

長崎大学は、熱帯医学研究所・原爆後障害医療研究所は、海外に複数の研究拠点をもち、また、全国共同利用・共同研究拠点として、感染症・熱帯医学、放射線災害・医科学領域の全国拠点として機能している。また、医歯薬学総合研究科 (TECDリーディングプログラム) を有するとともに、教育学部、経済学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部を有し、平成26年度からはグローバル人材育成に特化した多文化社会学部を創設した。さらに、国立国際医療研究センター (NCGM) にサテライトキャンパスを設置し、ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院と連携している。



「地球上のすべての人々の健康向上と健康格差の解消」に向けて明確な目標を設定し、実践的な研究教育を実施し、それを実証したものに対して、**博士(グローバルヘルス)**の学位を授与する。

The degree of
DOCTOR OF PHILOSOPHY

Has been awarded to

<Full Name>

In recognition of a Joint PhD Degree Programme for Global Health undertaken at School of Tropical Medicine and Global Health, Nagasaki, and London School of Hygiene and Tropical Medicine, London

Serial Number: xxxx

Date of Issue: xx xxx xxxx



Signature
<Full Name>

Director
London School of Hygiene
and Tropical Medicine
London

Signature
<Full Name>

President
Nagasaki University
Nagasaki

Serial Number

学位記

Full Name

上記の者が、本学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 長崎大学 - ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院 国際連携グローバルヘルス専攻の博士後期課程において学位論文の審査および最終試験に合格したので博士(グローバルヘルス)の学位を授与する

Date of Issue

LSHTM
Official
Stamp

